

千葉市感染症発生動向調査情報

2017年 第11週 (3/13-3/19) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		11週	10週	9週	8週
上段:患者数 下段:定点当たりの患者数 「定点当たりの患者数」とは 報告患者数/報告定点数。	小児科	17	18	18	18
	眼科	4	5	5	5
	インフルエンザ*	26	28	28	28
	基幹定点	1	1	1	1

定点	感染症名	千葉市					千葉県
		注意報	3/13-3/19	3/6-3/12	2/27-3/5	2/20-2/26	3/6-3/12
			11週	10週	9週	8週	10週
小児科	RSウイルス感染症		2	1	0	1	16
	咽頭結膜熱		1	0	2	2	36
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		42	47	42	43	527
	感染性胃腸炎		116	100	95	113	894
	水痘		4	10	3	11	59
	手足口病		0	0	0	0	1
	伝染性紅斑		0	0	1	1	8
	突発性発しん	↓	10	11	9	8	50
	百日咳		1	0	0	0	0
	ヘルパンギーナ		0	0	0	0	1
	流行性耳下腺炎		6	6	4	2	26
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)		231	265	304	441	2,433
眼科	急性出血性結膜炎		0	1	1	0	2
	流行性角結膜炎		0	0	6	6	26
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	0
	無菌性髄膜炎		0	0	0	2	2
	マイコプラズマ肺炎		0	0	2	2	7
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	0	0	3

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(10件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	50歳代	IGRA検査	結核	女性	60歳代	IGRA検査
結核	男性	60歳代	病理学的所見	結核	女性	60歳代	画像診断
結核	男性	70歳代	病原体遺伝子の検出	結核	女性	60歳代	病原体等の検出
結核	男性	70歳代	病原体等の検出等	急性脳炎	女性	10歳代	高熱及び中枢神経症状
結核	女性	30歳代	IGRA検査	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	女性	80歳代	病原体の検出

・第11週は、結核8件(58)、急性脳炎1件(4)、劇症型レンサ球菌感染症1件(1)の報告があった。

※ ()内は2017年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

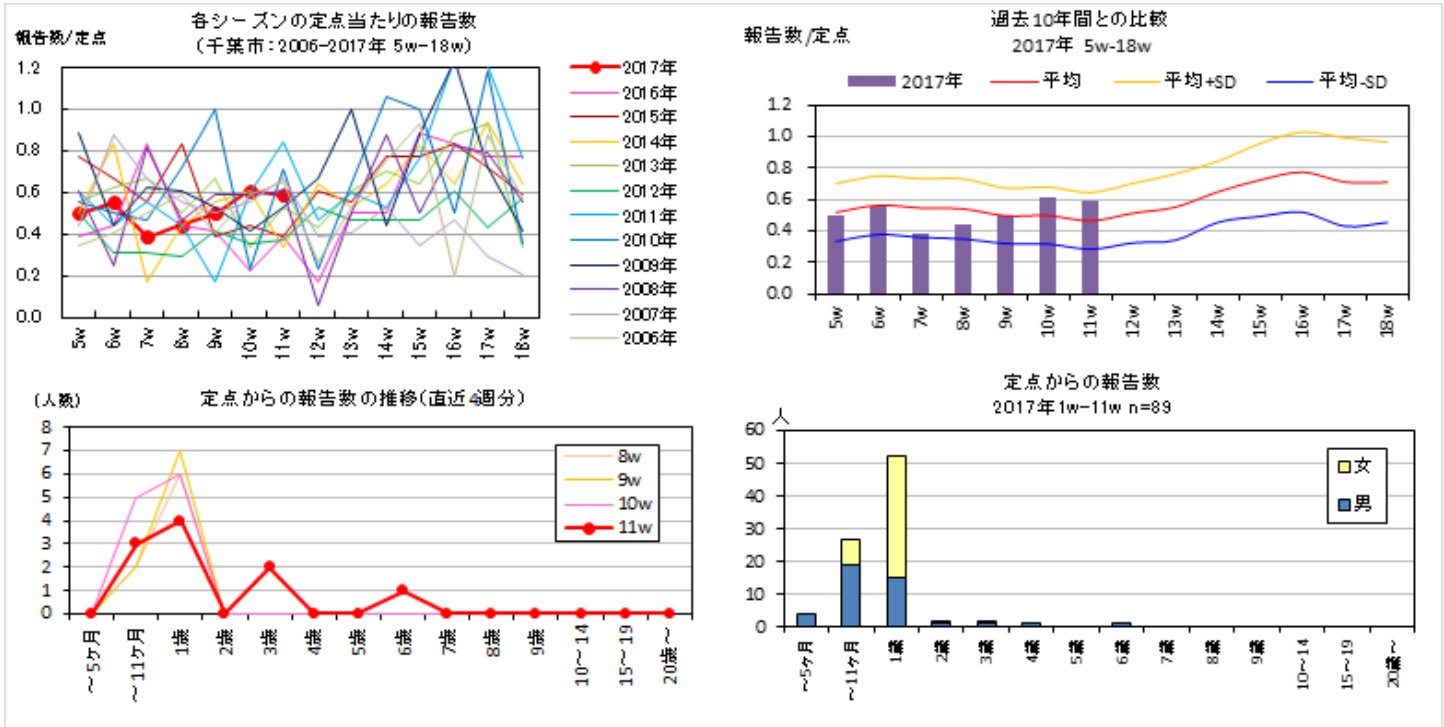
定点当たり報告数 第11週のコメント

<突発性発しん> 前週より減少し0.59となった。過去10年の同時期と比べると多め。

■ トピック ■

＜突発性発しん＞

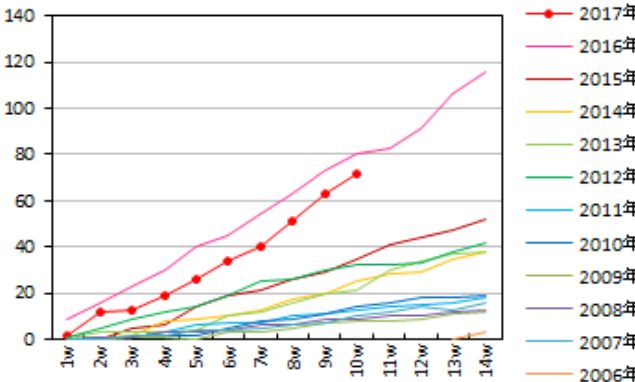
全国レベルの2017年第10週は、過去10年の同時期と比べると少なくなっています。都道府県別では、佐賀県、大分県、宮崎県の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルより若干多めとなっています。千葉市の2017年第11週は、前週より減少し0.59となりましたが、過去10年の同時期と比べると多めとなっています。区別の発生状況は、稲毛区及び緑区(共に1.67/定点)で最も多く発生があり、稲毛区では6か月～11か月、緑区では1歳で最も多く発生報告がありました。2017年第1週から第11週までの累積報告数(n=89)によると、性別では男性が47.2%(42名)、女性が52.8%(47名)で、年齢階級別では1歳(58.4%:52名)、6か月～11か月(30.3%:27名)、0か月～5か月(4.5%:4名)の順に多くなっています。



＜E型肝炎＞

全国レベルの2017年第10週の発生届累積数は72件となり、過去10年の同時期と比べおよそ2倍～9倍で最も多かった昨年に次いで多くなっています。都道府県別では、北海道、東京都、千葉県の順に多く報告されています。千葉市では2017年第11週現在、3件の発生届があり、過去10年と比べると平均を上回り多めとなっています。3件の内訳は男性2名女性1名で、年齢はいずれも50歳代以上となっており、感染経路は経口感染が2名、不明が1名となっています。過去10年で最も多かった2016年(7件)は、男性が4名(57.1%)、女性が3名(42.9%)で、30歳代が2名(28.6%)、50歳代が3名(42.9%)、60歳代及び70歳代がそれぞれ1名ずつ(共に14.3%)で、感染経路は経口感染が5名(71.4%)、不明が2名(28.6%)でした。千葉市では、2013年から上下しながら増加傾向にあります。

(人数) E型肝炎:年別発生報告累積数の比較(全国)



(人数) 発生届出数の推移(千葉市)

